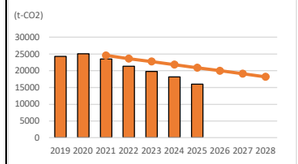
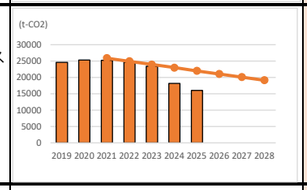
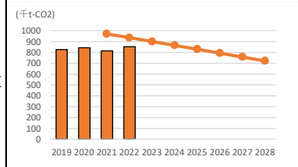
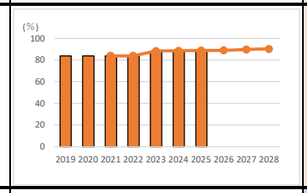
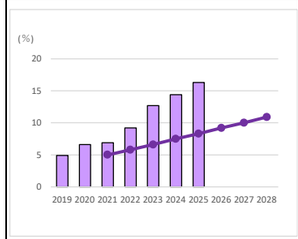
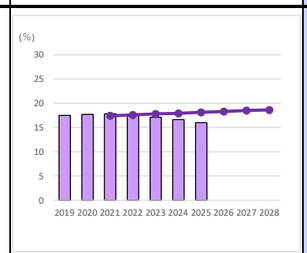
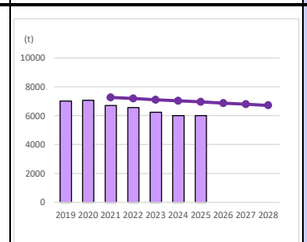
# 令和7（2025）年度　伊丹市環境基本計画(第3次)(中間改訂版)　年次報告　　成果指標

令和８(２０２６)年８月　伊丹市

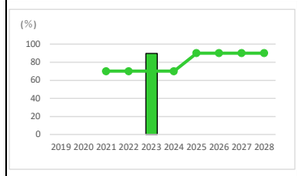
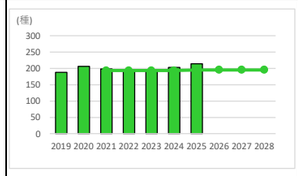
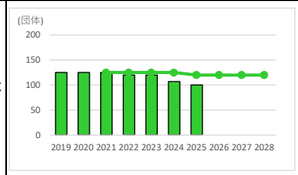
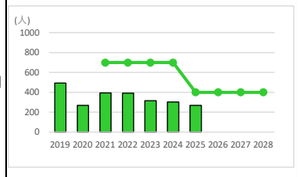
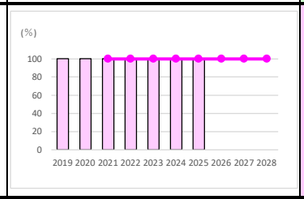
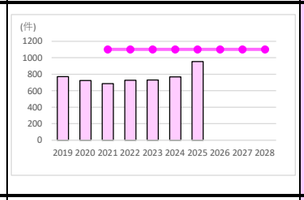
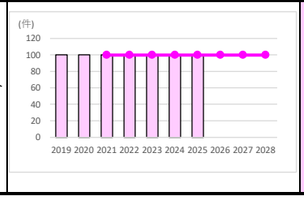
※ ＊は、2024年の中間改訂において成果指標を追加又は変更
＊2は、2024年の中間改訂において目標値を修正

| 整理番号 | 基本目標 | 成果指標 | グラフ<br>折れ線：目標　棒：実績 | 指標の性質 | 担当課 | | 2019年度（策定時） | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 | 2028年度（計画目標） | 2025年度実施内容 | 達成状況の評価<br>（達成・未達成の検証） | 2025年度以降実施予定<br>（達成状況を受けて今後の予定） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 【気候変動】気候変動に対応するまち | ①本市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量（t-CO2）<br>温室効果ガス排出量（調整後排出係数） |  | ↓ | グリーン戦略推進課 | 目標 | | | 24, 546 | 23, 637 | 22, 727 | 21, 818 | 20, 908 | 19, 999 | 19, 089 | **18, 180** | 公共施設における太陽光パネルの設置、電力の地産地消事業、EV導入、カーボンクレジットの調達等を実施した。 | 計画どおり進捗しており、目標は達成した。 | 引き続き、公共施設の脱炭素化に取り組む。 |
| | | | | | | 実績 | 24, 267 | 25, 059 | 23, 556 | 21, 362 | 19, 824 | 18, 162 | 16, 019 | | | — | | | |
| | | ①本市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量（t-CO2）<br>温室効果ガス総排出量（基礎排出係数）<br>＊2 |  | ↓ | グリーン戦略推進課 | 目標 | | | 25, 889 | 24, 926 | 23, 964 | 23, 001 | 22, 039 | 21, 076 | 20, 114 | 19, 151 | — | — | — |
| | | | | | | 実績 | 24, 628 | 25, 321 | 25, 227 | 24, 666 | 23, 457 | 18, 206 | 16, 061 | | | — | | | |
| 2 | | ②市域からの温室効果ガス排出量（推計値）（千t-CO2） |  | ↓ | グリーン戦略推進課 | 目標 | | | 971 | 936 | 900 | 865 | 829 | 793 | 758 | **722** | 市民向け太陽光発電及び蓄電池設備の共同購入支援事業、事業者用脱炭素化に向けた共同調達支援事業、公共施設へのEV充電器設置、体験型環境イベント等を実施した。 | 国等が実施する統計調査等を基に算出するため直近実績が把握できないため、現時点での評価は困難。 | 引き続き、市民や市内事業者の脱炭素化に取り組む。 |
| | | | | | | 実績 | 826 | 844 | 815 | 852 | — | — | — | | | — | | | |
| 3 | | ③浸水対策達成率（%）＊2 |  | ↑ | 上下水道局<br>（下水道課） | 目標 | | | 83. 86 | 83. 86 | 88. 32 | 88. 54 | 88. 82 | 88. 92 | 89. 74 | **90. 25** | 計画降雨対策（46. 8mm/hr）として、未整備地区である荒牧地区の工事を実施した。また、瑞穂町地区において実施設計業務を実施した。 | 工事実施により、着実に整備進捗を図った。国の補助金配分に伴う事業量調整や一部工事において天候不良等の影響により施工期間の確保が困難となり次年度繰越が生じたため、成果指標の目標値をやや下回った。 | 引き続き計画降雨対策として雨水管渠の整備を進める。2026年度においては金岡川及び荒牧地区を整備予定である。また、東有岡地区等において、実施設計業務を行う予定である。 |
| | | | | | | 実績 | 83. 83 | 83. 83 | 83. 86 | 83. 86 | 88. 32 | 88. 54 | 88. 57 | | | — | | | |
| 4 | 【循環型社会】資源が循環する環境に配慮したまち | ①発生抑制率（%） |  | ↑ | 生活環境課・環境クリーンセンター | 目標 | | | 5. 0 | 5. 8 | 6. 6 | 7. 5 | 8. 3 | 9. 2 | 10. 0 | **10. 9** | 【生活環境課】<br>6月の環境月間などの機会を活用して、ごみの削減に関する広報活動を実施。分別用ごみ箱の貸し出しや廃食用油のSAF化などの取組を通じて、ごみの分別とリサイクルを推進し、ごみの削減を図った。<br><br>【環境クリーンセンター】<br>まちづくり出前講座や環境学習を通じてごみの排出抑制を周知し、使用可能なものは再利用するなどのごみの減量につながる3R活動を推進した。 | 【生活環境課】<br>分別用ゴミ箱は12団体に貸与した。廃食用油の回収量は、2024年度の実績を超える量を収集した。また、広報啓発活動を同時期に展開することで、情報の周知と理解促進を目指して取り組む。<br><br>【環境クリーンセンター】<br>まちづくり出前講座（2件：71人）、環境学習（16校：1, 825人）、ごみ焼却施設（6件：274人）、保育園（3園：371人）、イベント（3件：156人）でごみの分別排出の啓発を行った。 | 【生活環境課】<br>6月の環境月間をはじめとする機会を活かし、ごみ削減に関する広報活動を実施する。さらに、廃食用油の回収箱を設置するなどの取組を行い、ごみの分別とリサイクルを促進して、廃棄物の削減を目指す。<br><br>【環境クリーンセンター】<br>引き続き、まちづくり出前講座や環境学習を通じてごみの排出抑制を周知し、使用可能なものは再利用するなどのごみの減量につながる3R活動を推進する。 |
| | | | | | | 実績 | 4. 9 | 6. 6 | 6. 9 | 9. 2 | 12. 7 | 14. 4 | 16. 3 | | | — | | | |
| 5 | | ②資源化率（%） |  | ↑ | 生活環境課・環境クリーンセンター | 目標 | | | 17. 4 | 17. 6 | 17. 8 | 17. 9 | 18. 1 | 18. 3 | 18. 5 | **18. 6** | 【生活環境課】<br>6月の環境月間などの機会を活用して、ごみの削減に関する広報活動を実施。分別用ごみ箱の貸し出しや廃食用油のSAF化などの取組を通じて、ごみの分別とリサイクルを推進し、ごみの削減を図った。<br><br>【環境クリーンセンター】<br>燃やすごみとして排出されている小さな紙類を資源物として分別するようにまちづくり出前講座、環境学習、広報伊丹などを通じて市民に啓発した。 | 【生活環境課】<br>分別用ゴミ箱は12団体に貸与した。廃食用油の回収量は、2024年度の実績を超える量を収集した。また、広報啓発活動を同時期に展開することで、情報の周知と理解促進を目指して取り組む。<br><br>【環境クリーンセンター】<br>まちづくり出前講座（2件：71人）、環境学習（16校：1, 825人）、ごみ焼却施設（6件：274人）、保育園（3園：371人）、イベント（3件：156人）でごみの分別排出の啓発を行った。 | 【生活環境課】<br>6月の環境月間をはじめとする機会を活かし、ごみ削減に関する広報活動を実施する。さらに、廃食用油の回収箱を設置するなどの取組を行い、ごみの分別とリサイクルを促進して、廃棄物の削減を目指す。<br><br>【環境クリーンセンター】<br>引き続き、燃やすごみとして排出されている小さな紙類を資源物として分別するようにまちづくり出前講座、環境学習、広報伊丹などを通じて啓発する。 |
| | | | | | | 実績 | 17. 5 | 17. 7 | 17. 8 | 17. 6 | 17. 1 | 16. 6 | 16. 0 | | | — | | | |
| 6 | | ③最終処分量（埋立量）（t） |  | ↓ | 生活環境課・環境クリーンセンター | 目標 | | | 7, 262 | 7, 184 | 7, 107 | 7, 029 | 6, 952 | 6, 874 | 6, 797 | **6, 719** | 【生活環境課】<br>6月の環境月間などの機会を活用して、ごみの削減に関する広報活動を実施。分別用ごみ箱の貸し出しや廃食用油のSAF化などの取組を通じて、ごみの分別とリサイクルを推進し、ごみの削減を図った。<br><br>【環境クリーンセンター】<br>まちづくり出前講座や環境学習を通じてごみの排出抑制や、資源の分別、食品ロスの削減など、ごみの減量化による埋立地の延命の必要性を啓発した。 | 【生活環境課】<br>分別用ゴミ箱は12団体に貸与した。廃食用油の回収量は、2024年度の実績を超える量を収集した。また、広報啓発活動を同時期に展開することで、情報の周知と理解促進を目指して取り組む。<br><br>【環境クリーンセンター】<br>まちづくり出前講座（2件：71人）、環境学習（16校：1, 825人）、ごみ焼却施設（6件：274人）、保育園（3園：371人）、イベント（3件：156人）でごみの分別排出の啓発を行った。 | 【生活環境課】<br>6月の環境月間をはじめとする機会を活かし、ごみ削減に関する広報活動を実施する。さらに、廃食用油の回収箱を設置するなどの取組を行い、ごみの分別とリサイクルを促進して、廃棄物の削減を目指す。<br><br>【環境クリーンセンター】<br>引き続き、まちづくり出前講座や環境学習を通じてごみの排出抑制を周知する |
| | | | | | | 実績 | 7, 020 | 7, 072 | 6, 705 | 6, 569 | 6, 240 | 6, 002 | 6, 003 | | | — | | | |

# 令和7（2025）年度　伊丹市環境基本計画(第3次)(中間改訂版)　年次報告　　成果指標

令和８(２０２６)年８月　伊丹市

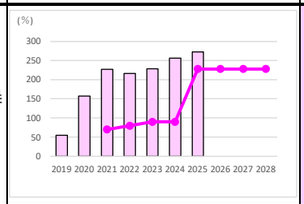
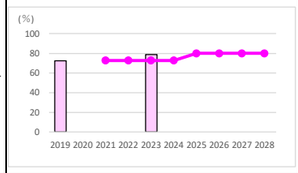
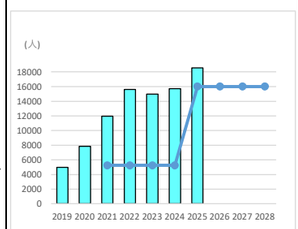
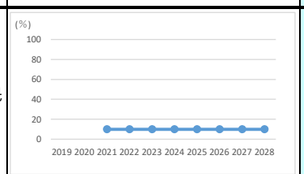
※ ＊は、2024年の中間改訂において成果指標を追加又は変更
＊2は、2024年の中間改訂において目標値を修正

| 整理番号 | 基本目標 | 成果指標 | グラフ 折れ線：目標　棒：実績 | 指標の性質 | 担当課 | | 2019年度（策定時） | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 | 2028年度（計画目標） | 2025年度実施内容 | 達成状況の評価（達成・未達成の検証） | 2025年度以降実施予定（達成状況を受けて今後の予定） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 7 | 【自然共生・生物多様性】自然環境と共生し生物多様性が保全されるまち | ①みどりに対する市民満足度（%）＊2 |  | ↑ | みどり自然課 | 目標 | | | 70.0 | 70.0 | 70.0 | 70.0 | 90.0 | 90.0 | 90.0 | **90.0** | 伊丹スカイパークや昆陽池公園など大規模公園を中心に公園緑地の魅力向上に努めた。 | ―<br>※市民意識調査が実施されず、達成状況が確認できなかった。 | 達成状況の把握に努める。 |
| | | | | | | 実績 | ― | ― | ― | ― | 89.9 | ― | ― | | | ― | | | |
| 8 | | ②在来生物の種類数（種）＊2 |  | ↑ | みどり自然課 | 目標 | | | 193 | 193 | 193 | 193 | 195 | 195 | 195 | **195** | 市民団体による自然環境保全活動や調査活動の結果、目標値を上回る結果となった。 | 達成 | 引き続き、自然環境の保全に努める。 |
| | | | | | | 実績 | 188 | 206 | 198 | 196 | 195 | 203 | 214 | | | ― | | | |
| 9 | | ③自然緑化活動等に参加している団体数（団体）＊2 |  | ↑ | みどり自然課 | 目標 | | | 125 | 125 | 125 | 125 | 120 | 120 | 120 | **120** | 市民緑化協定団体や公園アダプト団体、自然団体と協働・連携する中、さまざまな事業を実施した。 | 未達成<br>高齢化等による後継者不足のため、活動団体数は減少した。 | 引き続き、市民協働による活動の継続に努める。 |
| | | | | | | 実績 | 125 | 125 | 125 | 120 | 120 | 107 | 100 | | | ― | | | |
| | | ③自然緑化活動等に参加している参加人数（人）＊2 |  | ↑ | みどり自然課 | 目標 | | | 700 | 700 | 700 | 700 | 400 | 400 | 400 | **400** | 昆陽池公園等において、市民団体との協働による活動を継続した。 | 未達成<br>市民活動については活動人数の減少があったものの、予定通りの活動はほぼ継続できた。 | 引き続き、市民協働による活動の継続に努める。 |
| | | | | | | 実績 | 494 | 268 | 396 | 391 | 315 | 303 | 268 | | | ― | | | |
| 10 | 【都市環境】良質な都市空間の整備と生活環境が保全されるまち | ①環境基準達成率（水質（BOD））（%） |  | → | 環境保全課 | 目標 | | | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | **100** | 駄六川、空港川、三平排水路、昆陽川、伊丹川、金岡排水路、富松川、天王寺川の8河川で水質調査を行った。 | BODに関する環境基準について、全測定地点で達成した。 | 今後も駄六川等市域を流れる河川の水質を定期的に調査し、現状の把握に努める。公害発生の恐れのあるものについては、調査や監視に努める。 |
| | | | | | | 実績 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | | | ― | | | |
| 11 | | ②地域清掃活動支援件数（件） |  | ↑ | 生活環境課 | 目標 | | | 1,100 | 1,100 | 1,100 | 1,100 | 1,100 | 1,100 | 1,100 | **1,100** | 自治会等が行う地域清掃活動に対し、ごみ収集や物品の提供などを実施した。 | 自治会等が行う地域清掃活動に対し支援を行い、地域の環境美化を推進した。 | ごみの収集や物品提供についての周知啓発を継続する。 |
| | | | | | | 実績 | 771 | 722 | 686 | 726 | 728 | 768 | 952 | | | ― | | | |
| 12 | | ③デザイン審査における景観計画適合率（%）＊ |  | → | 都市計画課 | 目標 | | | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 広報などを利用し、景観形成基準の周知による景観啓発活動を実施した。また、伊丹市都市景観条例に基づき、大規模な建築物の新築等についてデザイン審査小委員会を開催し、学識経験者からの専門的知見をもった助言・指導を実施した。 | 届出および通知のあった物件については、伊丹市景観計画の制限事項（色彩制限）に100%適合。 | 広報などを利用した景観形成基準の周知による景観啓発活動を行うとともに、景観まちづくり団体の支援を行う。デザイン審査小委員会の開催及び公共施設景観指針や公共サインガイドラインの活用により、公共空間における良好な景観誘導を図る。 |
| | | | | | | 実績 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | | | ― | | | |

# 令和7（2025）年度　伊丹市環境基本計画(第3次)(中間改訂版)　年次報告　　成果指標

令和８(２０２６)年８月　伊丹市

※ ＊は、2024年の中間改訂において成果指標を追加又は変更
＊2は、2024年の中間改訂において目標値を修正

| 整理番号 | 基本目標 | 成果指標 | グラフ 折れ線：目標　棒：実績 | 指標の性質 | 担当課 | | 2019年度（策定時） | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 | 2028年度（計画目標） | 2025年度実施内容 | 達成状況の評価（達成・未達成の検証） | 2025年度以降実施予定（達成状況を受けて今後の予定） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 13 | 【都市環境】良質な都市空間の整備と生活環境が保全されるまち | ④都市農地貸借法に基づく認定都市農地面積（a）＊ |  | ↑ | 農業政策課 | 目標 | | | 70 | 80 | 90 | 90 | 228 | 228 | 228 | **228** | JA兵庫六甲都市農地相談センター等と連携し、特定農地貸付法や都市農地貸借法等に基づく農地貸借を推進した結果、都市農地貸借法に基づく農地の貸借面積が増加した。 | 目標としている農地面積について達成した。 | 引き続き、都市農地貸借法に基づき農地の貸借拡大の推進に努める。 |
| | | | | | | 実績 | 55 | 157 | 227 | 216 | 228 | 256 | 272 | | | | | | |
| 14 | | ⑤交通ネットワークに対する市民満足度（%）＊2 |  | ↑ | 交通政策課 | 目標 | | | 72.7 | 72.7 | 72.7 | 72.7 | 80.0 | 80.0 | 80.0 | **80.0** | 伊丹市総合交通会議を開催し、各交通施策の実施状況について情報共有や課題整理を行った。 | ―<br>※市民意識調査が実施されず、達成状況が確認できなかった。 | 伊丹市総合交通計画に基づく各施策について、伊丹市総合交通会議での進捗管理・効果検証を踏まえた取組を推進する。 |
| | | | | | | 実績 | 72.4 | ― | ― | ― | 78.8 | ― | ― | | | ― | | | |
| 15 | 【人づくり】環境意識と協働の輪が広がるまち | ①環境イベント・講座等に参加した人数（人）＊2 |  | ↑ | グリーン戦略推進課<br>環境保全課<br>生活環境課<br>環境クリーンセンター<br>みどり自然課 | 目標 | | | 5,250 | 5,250 | 5,250 | 5,250 | 16,000 | 16,000 | 16,000 | **16,000** | 【グリーン戦略推進課】<br>地球温暖化防止等に関する体験型環境イベント等を実施した。<br><br>【環境保全課】<br>環境関連の市民団体と共催し、環境啓発イベント「アースディ伊丹」を実施した。<br><br>【生活環境課】<br>野良猫衛生対策事業に取り組む個人に対して講習会を実施した。<br><br>【環境クリーンセンター】<br>まちづくり出前講座や環境学習を通じてごみの排出抑制を周知し、使用可能なものは再利用するなどのごみの減量につながる3R活動を推進した。<br><br>【みどり自然課】<br>「生物多様性交流フェスティバル」や「生物多様性講演会」等の環境イベント・講座を実施した。 | 【グリーン戦略推進課】<br>各イベント参加者数は以下のとおり。<br>Save the future in いたみ(3,873人)<br>ちょこっとエコサイエンス(22人)<br>阪南伊丹海の森プロジェクト(20人)<br>住友電工稲荷祭(100人)<br><br>【環境保全課】<br>アースデイ伊丹(300人)<br><br>【生活環境課】<br>野良猫衛生対策事業講習会を行い、活動に取り組む市民が増加した。<br>野良猫対策事業講習会（76人）<br><br>【環境クリーンセンター】<br>ごみの分別排出等の啓発を行った。<br>・まちづくり出前講座（2件：71人）<br>・環境学習（16校：1,825人）<br>・ごみ焼却施設（6件：274人）<br>・保育園（3園：371人）<br>・イベント（3件：156人）<br><br>【みどり自然課】<br>各イベント参加者数は以下のとおり。<br>・伊丹生きものマイスター・スキルアップ講座　(109人)<br>・みどりの相談（427人）<br>・生物多様性講演会（319人）<br>・伊丹の自然を守り育てる会　活動（268人）<br>・生物多様性交流フェスティバル（10,358人） | 【グリーン戦略推進課】<br>引き続き、体験型環境イベント等を実施し気候変動に対する意識・行動変容を促す。<br><br>【環境保全課】<br>引き続き、イベント等を通じ、環境保全に対する意識・行動変容を促す。<br><br>【生活環境課】<br>野良猫衛生対策事業について地域猫活動ガイドブックなどを用いて周知・啓発を行う。また、市民の要望に応じた講座等を適宜実施する。<br><br>【環境クリーンセンター】<br>引き続き、まちづくり出前講座や環境学習を通じてごみの排出抑制を周知し、使用可能なものは再利用するなどのごみの減量につながる3R活動を推進する。<br><br>【みどり自然課】<br>引き続き、市民講座やイベントなどの開催に努める。 |
| | | | | | | 実績 | 4,969 | 7,834 | 11,978 | 15,611 | 14,984 | 15,706 | 18,569 | | | ― | | | |
| 16 | | ②緑化や自然保護活動に参加した市民の割合（%） |  | ↑ | みどり自然課 | 目標 | | | 10.0 | 10.0 | 10.0 | 10.0 | 10.0 | 10.0 | 10.0 | **10.0** | 緑化や自然に関する講座や講演会を開催するなど、市民啓発や、活動への参加を促すように努めた。 | ―<br>市民意識調査が実施されず、達成状況が確認できなかった。 | 緑化や自然に係る活動への市民参画に努める。また、達成状況の把握に努める。 |
| | | | | | | 実績 | ― | ― | ― | ― | ― | ― | ― | | | ― | | | |